

すざか

6

No.506

-郷土の歴史を歩いて探る-

井上歴史の道と里山あるき



約90名のみなさんが
地域の里山を
元気に歩きました

【関連記事 2 ページ】

なった。『仕事をする』こと、『社会人になる』ことが不安だという▼友人に「仕事に就く前は不安だったか」と聞かれた。私は高校卒業後、すぐに就職したので、何の屈託もなく仕事をこなしていました。3月まで学生だった友人にどうして『仕事をする』ことは、テレビドラマで見るような『バリバリの仕事人間』になることだったらしい▼しかし、実際は自分の思いとはかけ離れていたと言う。「もつと厳しい現実を想像していたけど、定時には終わるし、コーヒーを飲む余裕もある。この環境に慣れちゃうのかな」。聞かれた私は「そのうちに余裕なんてなくなってくるよ。今の気持ちを忘れるな」と、ちょっと先輩ふって答えたものの、ハッとした。それは向上心いっぱいの友人にあって、今の私に欠けている気持ち。仕事を始めたときには、私にもあったはずなのに▼『バリバリの仕事人間』になりたいとは言わぬが、せめて何事にも常に向上心を持って取り組みたい。あなたのおかげで大切なことに気付くことができた。ありがとう。これからもお互いに『初心忘れるべからず』。



4月に友人が社会人になっ

た。『仕事をする』こと、『社会人になる』ことが不安だという▼友



手押しポンプのまわりで大はしゃぎ

5月15日(土)に井上町公民分館主催の『井上歴史の道と里山あるき』が開催されました。

この事業は今年で5年目を迎え、昨年まで分館と小・中学校PTA井上支部の共催でしたが、今年は生涯学習推進員の「井上仲良し会おてつないで」の協力も得ての開催でした。

当日は天候にも恵まれ、大人・子ども合わせて約90名の参加があり、盛大に開催されました。

大城跡では「10年ぶりくらいに登ったなあ。以前に見た町並みとは大分変わったよ」と話す年配の方や「井上小学校のグランドが見えたよ」と須坂の町並みや山並みを双眼鏡で代わる代わる覗く子どもたちの姿が見られました。

井上小学校PTA支部長の飯塚俊樹さんは「子どもたちと一緒に学園生活を勉強できる良い機会でした。地域の方や親子のふれあいも深まり、とても楽しい一日でした」と感想を述べられました。

はじめて、宮本学園長から「生涯学習は仲間と一緒に学習を深めます。自分も人を理解し、また人にひとりの知識を持ち寄り、皆で理解してもらう。その喜びはとても大きなものだと思います。一人ひとりの知識を持ち寄り、皆で学習を深め合いましょう」と、あいさつがありました。

学園生を代表して宮本公子さん(5年生)が「私が入園したときは、『5年も続くかしら』と思つていましたが、早いものでもう4

井上歴史の道と 里山あるき

みんなで地域を知ろう



小坂神社で行われた開会式で、分館長の長谷川清さんから「井上の歴史を知り、地域の方々とのふれあいも深め、楽しい時間を過ごしましよう」とあいさつがありました。けが人なく事業が進むよう、小坂神社でお参りをして、小城・大城を目指して出発しました。



山並みに改めて歴史を感じます

昨年度に続き33名という多くの新入園生を迎えて、在園生とあわせて106名で開講しました。

4月24日(土)に『であい』『ふれあい』『学びあい』をモットーとして生涯学習に取り組む須坂市民学園の平成16年度開講式を行いました。



充実した学園生活を送ります

須坂市民学園

今年も集う／ふれあいの学園

年が過ぎました。残された1年を充実した学園生活にしたいと思いします」と、最終学年になっての抱負も込めてあいさつをされました。5月22日(土)には、学級活動、自治会総会等が行われ、学級の学習計画を立て、親睦を深めました。公開講座では元武石村診療所長の矢島嶺先生を講師にお迎えし、「間違っているかもしれない中高年の健康管理と死生観」と題して講演をいただきました。

中には「健康に関する情報が氾濫していく迷つてしまします。ですが、先生のお話を聞いて、病気とうまくつきあっていく方法がわかりました」「とても元気になる講演でした。今年度も市民学園の仲間と様々な活動をして楽しい時間を作りたいと思います」と話される方もおり、笑顔の絶えない講演会となりました。

今年度も様々な分野の方から講演していただきます。学園生以外の方も聴講できますので、ぜひ公民館へお越しください。



笑顔が健康の秘訣です

吉澤さんは、豊島町の分館活動について、「各種行事に多くの方が参加され、協力もしていただきたいです。大人も活躍できる場を作りたいですね」と話されました。

今年度は『親子味噌作り体験会』の開催や、人権同和問題学習会に子どもが参加できるように工夫して、地域の大人と子どものコミュニケーションを第一に事業を計画されています。

「町が誕生して8年目を迎えます。町も住民も若く、子どもの多い明るい町です。いつまでも今この雰囲気を残していきたいです。

吉澤さんは、豊島町の分館長会長について、「他の分館長さん方に比べて若輩ですが、皆さんのご協力をいたしかながら、時間がない中でも誠意を持って事業に取り組んでいます」と、抱負を話していました。

最後に、「6月27日(日)には市民館で『公民館研究集会』を開催します。分館活動を進めていく上で必要な研修や、普段なかなか聞くことができない貴重な講演があります。分館に携わる多くの皆さんに参加していただき、これからも大勢の分館活動にいかしていただきたいと思います」と話されました。

皆さんも、分館をはじめとする様々な地域の活動に、ぜひ積極的にご参加ください。

吉澤恵資さん
(豊島町)

今年、須坂市分館長会長に就任され、豊島町分館長としても地域の活動に日々ご尽力されている吉澤恵資さんをご紹介します。



マレットゴルフで親子のふれ合い



痛みを理解しあうことが大切です

また、最近の差別事件を例に、見えにくい部落差別の現状についても話されました。

小森さんは「他人の足を踏んでいる人は踏まれている人の痛みがなかなか分からぬものです。その痛みを理解しあい、人に痛みを与えないようこれから的生活を送ってほしいです」と話されました。

1回目は、部落解放同盟須坂協議会会長の小森清利さんから『人権同和教育の指導者に願うこと』と題して、講演をいただきました。

4月28日(水)と5月7日(金)

16年度人権同和教育指導者研修会

がメセナホールで開催さ

れました。

人権同和教育 指導者研修会

他人の痛みを自らの痛みとして

各回とも、大勢の分館関係の皆さんのが参加し、人権同和問題学習会が開催されます。参加される皆さんのがそれぞれ主体性を持つて学習会に臨むことが大切です。

身の周りにある人権などの課題を、心を開いて話し合ってみましょう。



自らの問題として真剣に耳を傾けます

2回目は、真宗大谷派称名寺住職の木曾秀豊さんから『人権感覚を高める 同和教育への取り組み』と題して講演をいただきました。

「差別」とは、自分の下を探し作つて優越感に満り、自分を慰める稚拙な満足感を得る行為です。人の痛みを平然と見過ごさない、『気付き』が大切です」と、日常生活の中に見られる事例を交えて話されました。

演題 『人生の核心－生と死を考える』
講師 萬福寺（塩尻市）住職 佐々木 正先生

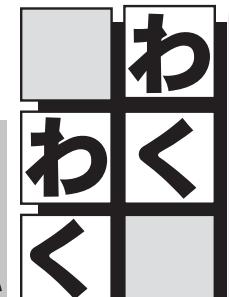


とき 6月19日(土) 午後2時から
ところ 須坂市公民館 3階ホール
問合せ 市公民館 ☎ 245-1598
入場料 無料

※お気軽にお越しください。



Waku Waku



公民館

Kominkan

南部地域の歴史・文化を学ぶ会

南部地域の歴史や文化をわかりやすく説明します。楽しく学習しましょう。

日 時 6月6日(日)、12日(土)、20日(日)
午前10時から11時30分
ところ 南部地域公民館 会議室(2階)
テーマ 6日(日)：八幡神社と南部地域の人々
講 師 田幸喜久夫 先生
12日(土)：庚申塔と人々の暮らし
青木 廣安 先生
20日(日)：女性から見た須坂藩主
奥田家の歴史
廣瀬 紀子 先生
参加費 無料
申込み問合せ 南部地域公民館 ☎ 245-0273

地域を知り、
合併について
考えてみよう！

ウォーク & スタディ

須坂市との市町村境を実際に歩き、相互の歴史や文化財などについて学習しながら、「市町村合併」についても考えます。

須坂の過去と未来について学んでみませんか。

【とき】6月30日(水)から8月4日(水)まで
毎週水曜日 午前10時～
(内容により時間等異なる場合があります。)
【ところ】須坂市公民館 ほか
(7月14日、28日は現地学習)
【講 師】青木廣安 先生 他
【定 員】15名
【受講料】無料
【対 象】市内に在住されている成人の方
【申込み・問合せ】市公民館 ☎ 245-1598



地域公民館 からの お知らせ

オカリナ教室開催

土から作った素朴な音色の楽器「オカリナ」を楽しんでみませんか。

基礎から習います。ぜひご参加ください。

とき 6月より月2回
(受講者と相談しながら計画します。)
ところ 高甫地域公民館
講 師 永山 浩 先生
受講料 1,000円
持ち物 オカリナ(オカリナのない方はご相談ください)
問合せ 高甫地域公民館 ☎ 248-1925



昔の写真、眠っていませんか？

写真で振り返る須坂の50年

写真展の写真を募集します！

「須坂市制施行50周年」の記念事業の一環として、「写真で振り返る須坂の50年」写真展の開催を予定しています。須坂市域の長い歴史の中で、町並みや風景はその折々に変わってきたと思いますが、様々に技術等が発達したこの50年は、特に変貌の大きい時期の一つだったのではないかでしょうか。皆さんの家に、それぞれの時代を感じさせる写真などがありましたら、ぜひお寄せください。

◇募集する写真：過去の須坂市の行事・出来事・人物

今では見られない風景等

◇用 途：写真展での展示、記念式典での展示等

◇応募方法：須坂市公民館内「写真で振り返る須坂の50年写真募集係」まで郵送いただくか、ご持参ください。また、郵送の場合は、住所・氏名・電話番号及び写真の説明文を明記してください。

◇応募締切：7月15日(木)

◇問 合 せ：市公民館 ☎ 245-1598

からあるバスツアー客24人のグループが訪れていました。観光客の一行は、4コースに分かれ、ボランティアガイドの案内で、それ「信州須坂みそ料理の会」の加盟店で昼食をとり、蔵の町並み見学されました。

この町並みガイドを務められた皆さん方は、「町並みガイド・ボランティアクラブ」のメンバーで、去年5月に結成され、ふだんは土・



バスツアー客を案内する
ガイド・ボランティア

先月23日、銀座通りを中心に、今年も信州須坂町並みフェスト'04が盛況裏に開催されました。当日、たくさんの人で賑わつていた町並みの中に、ちょうど東京

学習の成果が、観光ガイドのまちづくりに活かされています

日曜日を中心に観光ガイドされるボランティア団体です。

メンバーは、総勢30人余、まず自ら蔵の町並みに興味をもち、公民館や当推進センターなどの講座でその歴史や貴重さを学習された方々です。最初からボランティアのために学習を始めた訳ではありません。「学習した成果を活かし、役立てたい」という思いからボランティア活動を始められました。

案内した方々から感謝されることで喜びとなり励みになつてているよう

ます

生涯学習だより



新しい風、生涯学習

生涯学習のマスコット
『マナビィ』

編集・発行／
須坂市教育委員会
生涯学習推進センター

No.52

市制施行50周年記念

第11回「生涯学習市民のつどい」 ミニコンサートなどへの出演者を 募集します

この「生涯学習市民のつどい」は、日頃から皆さんのが好み楽しみながら実践している学習の成果を発表していただき、会場に訪れた皆さんに生涯学習をPRする機会として開催する一大イベントです。

本年は、市制施行50周年を記念した節目のイベントとして開催します。

出演者募集！

出演内容	「音楽」「マジック」「舞踊」「読み聞かせ」などのジャンルです。 出演者の個人・グループは問いません。 出演時間は、1個人・グループのステージは15分間程度とします。
出演日時	9月23日(木・祝日) 午前10時から12時までの間
出演場所	公民館3階ホールまたは1階ロビー
応募方法	出演内容、団体名、代表者氏名、住所、連絡先などについて下記までご連絡ください。(電話・FAXで可)
受付期間	6月7日(月)から6月16日(水)まで(土日を除く)
選定方法等	先着順で決定し、後日、実行委員会に出席していただきます。
応募先	生涯学習推進センター ☎ 245-1598 FAX 246-3906

須高医師会・
県立須坂病院

市民健康 出前講座

この「市民健康出前講座」は、須高医師会・県立須坂病院の先生方が、日常の診療業務に支障のない範囲で、注文先まで出向いてご専門の分野について講演するもので受講料は無料です。今回の見直しにより講座メニューが[53]から[73]に増えました。ぜひ、ご利用ください。

《お申し込み・お問い合わせ》

県立須坂病院「地域医療福祉連携室」

☎ 246-5531(直通)へ

生涯学習推進員の サークル訪問⑯

高 甫 焼

高甫陶芸サークル

の巻



◆ 会発足のきっかけは・・・

観る陶芸から作る喜びへと、焼物作りの趣味の人なら誰でも一度は挑戦したいものです。

自然が作ってくれた『土のすばらしさ』を探求し、自然の土がもつ美しさを自分の手で体験する…そんな集まりがあったら平成8年に開催された高甫地域公民館の陶芸教室で学んだ仲間が、自主サークルを結成して活動しています。



◆ 会員の声・・・

鎌田窯の境信夫先生の文に『雪解けを待っていたように、草間の山に土を掘りに行きました。…（中略）…時々、自分の作意など入れず、山土のままのほうが美しいのではと思う時があります。いつの日か、この自然の中に溶け込んでいけるような作品をと願いながら…』と書かれており、この思いをこめながら更に作品作りを続けたいと思っております。心を安らげ、癒す自然の恩恵を、焼物作りを通して得られたらと思っております。

会員募集中!! 連絡先

会長 戸井幸子 ☎ 245-6187

◆ メンバー・活動日・講師は・・・

町内在住または出身の、年齢は50～60代の人生経験豊富な女性の集まりです。

現在、会長以下11人で、毎月第2木曜日の午前9時から、高甫地域公民館で活動しています。

講師は山岸鷺雄先生に教えをうけ、平成12年からは現在の黒岩昭二郎先生にお願いしています。



◆ インタビューを終えて・・・

私たちの祖先は絶えず土とともに生きてきましたが、生活が文明化されるにつれて、足元はアスファルトに覆われ、建物もコンクリート化され、土との共生が疎遠化されてきました。この時代にあって、掌や指を介して土の感触を味わい、大地の精気を全身にとりこむことは私たちの心にとって大切なことのように思いました。大地は生命の母体なのですから…。

笑いのたえない雰囲気の中で和気あいあいとみなさんが活動されている姿がとても印象に残りました。

(生涯学習推進員会 広報部 中島・丸山 記)

お詫びと訂正

先月の「生涯学習だより」5月号に掲載しました「生涯学習推進員のサークル訪問」の記事の中で、問合せ先の電話番号は、245-5811となりますので、お詫びして訂正させていただきます。

須坂市立博物館
博物館だより




開館時間 午前9時～午後5時
休館日 7・14・21・28日

☎ & FAX 245-0407



第2回

臥竜山から鎌田山ハイキング 『一里山を歩く』

今、里山のはたらきが注目されています。
須坂市は妙覚山・坂田山・妙徳山などの里山に抱かれた恵まれた地域です。

臥竜山・鎌田山のハイキングを楽しみながら、里山のはたらきを学んでみませんか。

日 時 6月5日(土) 午前9時～午後2時

内 容 採集や観察を通して、田んぼや小川の生き物と里山の林や地質について学びます。

コース 博物館前(集合・出発) →臥竜山→北原町→鎌田山(昼食)

帰路は同じコース、解散は博物館前午後2時の予定です。どなたでも歩けるコースです。

持ち物 お弁当(おやつ、水筒など)

服 装 山歩きのできる服装

参加費 保険料として小学生以上1人50円
(当日受付でお願いします)

講 師 長野自然の会 清水良昭、柳 真一 先生ほか
問合せ 須坂市立博物館 ☎ 245-0407

図書館だより

行事のこな案内	おはなしの会	毎週土曜日	午前11時～
	平家物語の勉強会	8日(火)	午前9時30分～
	あかりの会	9日(水)	午前10時～
	一茶の会	12日(土)	午前9時30分～
	創作童話の会	12日(土)	午後2時～

読書会のお知らせ

日時 6月18日(金) 午後7時～8時30分
場所 市立須坂図書館 会議室
講師 高甫小学校長 鈴木紘一先生
内容 『スイミー』レオ＝レオ二作
☆申込みは不要です。お気軽にご参加ください！

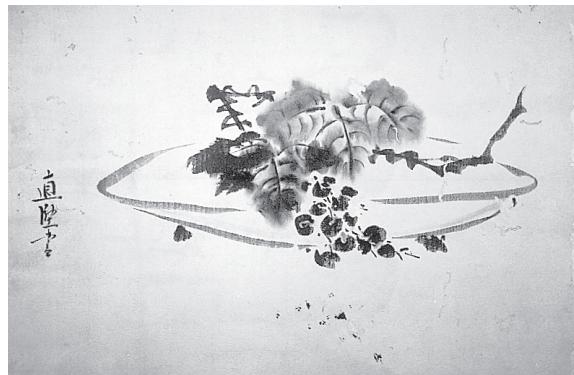


蔵書冊数 139,787冊
(市民1人あたり 2.58冊)
貸出冊数 208,432冊
(市民1人あたり 3.85冊)
《平成16年3月末現在》

紙上博物館

須坂藩主の書画⑤

七代藩主堀直堅書 水墨画 『平皿に葉つき葡萄』



七代藩主 直堅筆水墨画

七代藩主直堅は寛保3年(1743年)六代藩主直寛の嫡男として須坂で生まれました。

歴代須坂藩主は学問を好み、書画をたしなみました。直堅の「平皿に葉つき葡萄」の水墨画はその非凡さを物語る秀画です。白く透き通った(あるいはギヤマン)平皿に、枝葉付きの一房の葡萄の水墨画は、当時にあって斬新な画材であったといえます。墨の濃淡、筆遣いの技の巧みさもさることながら、若々しい真摯な生き方を感じさせる作品です。

開館時間 平日 午前9時～午後6時
土日 午前9時～午後5時
休館日 7・14・21・28・30日

☎ 245-0784
FAX 245-4313



新刊のごあんない

『臨 場』



横山秀夫

終身検視官の異名を持つ倉石は死者を救えるのか。
警察小説の圧倒的世界。

『佐久間象山』



童門冬二

幕末騒乱に国指針を照らした先駆者の波乱万丈の生涯を描く。

『おでかけ大好き！ファミリー遊び場ガイド』



新潟日報事業社
便利情報満載の北信越5県約450施設カラーガイド。

『30代・40代から考える年金の本』



井戸美枝

あなたがもらえる年金額はいくら？
ケース毎に計算できる。

『こくごであそば』



斎藤 孝

小学生なら誰でも読める楽しい話が満載。

『ゴリラのジャングルジム』



きむらだいすけ

とっても大きくて強くて優しいお父さんゴリラと子どもゴリラのお話し。